

Heartful

43期生学年通信 No24 ~2023.3.3 人生いろいろ！その時どうする？！号~

* * 人生すごろくをしました * *

2月24日5,6時間目の総合で人生すごろくをしました。まず、5時間目は豊中市社会福祉協議会の勝部麗子さんのお話を聞きました。別教室から教室へのライブ配信という形での講演でしたが、しっかり話を聞くことができました。6時間目は社協の方に教室に入ってもらい、すごろくゲームをしました。単に早くゴールをしたりお金を稼いだりすることが目的のゲームではありません。止まるマスによっては、高校に行くお金がなかったり、ケガをして働けなくなったり…困ったことがたくさん起こります。そんな時にどうするか？を班で考える時間でした。どのクラスもワイワイと楽しみながら学習することができました。

Photo

[感想]

• どんなにつらくてもひとりじゃない。人生はどこからでもやり直せる。仕事を失ったりしても、相談すれば話に乗って仕事を探すことを手伝ってもらったり、社会への復帰の手助けになる。そんな存在である社会福祉協議会の存在を私は初めて知りました。職場体験の時に名前を聞いただけでどんなことをしているのかを知らなかったけど、すごろくなどわかりやすく理解できました。この仕事があるから社会に復帰できた人や、勇気をもらった人々がたくさんいると思います。また、近所づきあいなどの人間関係も大切なものであることに気付きました。(人間関係が原因で相談もある) どんなに辛いことも相談すれば解決できるからこそ一人で悩まないで勇気を出して相談することが大切だと思う。本当にありがとうございました。

• 生活の中で困ったことなどがあった時に相談できる場所がそんなにあることを知らなかったです。困っている人の家を一つ一つ行って、一人一人に寄り添って解決に向かっていこうとしている姿はとてもすごいと思いました。そういうところで活動している人がいるからどんどん悩みを解決できる人が増えていくんだと思いました。どういう時にどこに相談をしたら良いかも分かって、すごく勉強になりました。

• すごろくをしてみると思ってもいなかったことが起こって、人生何があるか分からないから今のうちから相談できる場所を知っておくことが大切だと思った。また、地域で助け合うことで新しい人間関係ができることが分かった。いきなりは出来ないけれど、まずは応援してくれている人や友達などの周りの人に感謝を伝えて、自分も応援して助けてあげられる人になりたいと思った。病気になったり、お金がなくなって困っても、やり直そうと思えばいつでもやりなおせると知って少し安心した。

• 生きていて絶対に悩むことがあるけれど、それを周りの人に相談しづらい、したくないということがあると思うから、今日教えてもらった社会福祉センターを頼ってみることもいいと思いました。今日、人生すごろくをやって、いろいろな選択を考えられました。様々な理由で働けなくなったり、精神的にしんどくなってしまうことはあると思うけれど、そんな時でも味方がいると思えるのはうれしいと思いました。

• 社会福祉という言葉は聞いたことがあったけれど、ここまでくわしく聞いたのは初めてでした。いろんな種類があったりして難しかったです。たくさんの種類の制度があって、どんな内容で困っても助けてもらえるので、安心できる人が増えるなと思いました。勝部さんたちの活動内容で、困っている人に最後まで諦めずに寄り添ってあげているのが良いなと思いました。自分も困っている人を助けられるような人になりたいと思いました。

・ニュースでよく「いじめられているのを助けてくれる団体に言ったのに何もしてくれなかった」というのを見かけます。だから私は、本当に助けてくれるのか、何をしてくれるのか分かりませんでした。でも、今日授業を受けて、掃除とかをできないという問題だけでも相談していいんだと思い、身近に感じました。すごろくで、たくさんの福祉センターがあることを知りました。これから先、何があるか分かりませんが、もし本当に困った時は助けてくれる団体が身近にいるんだと実感し、私が助ける立場にもなりたいたいと思いました。すごろくで遊びながら学ぶことができるのはすごいことだと思いました。一人だけでなんとかしなくてもいいんだということを感じました。

・こんなにもいろいろな支援があるんだなと思った。人生すごろくもすごく楽しく勉強できたなと思った。困った時に支えてくれるセーフティネットが国民の権利なのはすごいなと思いました。自分もいろいろなことで困っているときや悩んでいるときは闇サイトや身分が分からないような人に相談するんじゃなくて社会福祉・セーフティネットや身分が分かる信用できる人に相談するようにしようと思いました。

・自分は今回この授業を聞いて思ったことは日本や市は自分たちの味方だという事です。親や友達だけでなく国や市にも頼れるというのは大きな自信につながるなと思いました。もし自分が悩んだりお金に困ったりした時に国に借りられるのは本当にお金がない時は助かるし良い制度だと思った。人生すごろくも自分が歩まないような新鮮な感じで楽しかったです。社会福祉の人は関わったこともなかった赤の他人の人と知り合っただけでその人を助ける仕事は大変だと思ったけど、やりがいはある仕事なんだと感じた。掃除の手伝いなど普通はしたくないことなども嫌な顔一つせず手伝っていてすごいなと思った。赤の他人だった人もたくさん関わっていくようになって知り合いが増えることはその人も関わる人が増えるし、社会福祉の人も自分が関わった人が笑顔になるのが嬉しいんだろうなと思ったし、仕事のやりがいを感しているんだと見ていても伝わってきました。自分ももしお金や人間関係に困ったとき、助けてもらえたら嬉しいなと思いました。

・自分が将来困った時に頼れるところがあると知って、安心した。自分ではどうにもできない、防ぐことができないことがあった時、すごく大変だろうから勉強できてよかった。すごろくで分かりやすいように学ばせてくださってよかった。ハローワークや生活保護などで知っているものもいくつかあったけれど、思っていたよりも多くて驚いた。動画で具体的な仕事内容を知れて、大変な仕事だなと思ったり難しそうなのをしているなと思った。いろいろな人を相手にして、社会復帰できるように取り組んでいるのは素敵だと思った。多くの人が仕事にしたいと思うような仕事ではないと思うから、仕事にしている人はかっこいいなと思った。普段、自分で調べようとしなから学校の授業で学ぶことができてよかった。

・人生で困ったときには、このような社会福祉協議会というのがあると分かった。お金に困ったり生活に困った時に助けてくれる場所があるということを知った。ビデオを見て、実際の活動を見ることもできよく分かった。この先の人生で、誰も相談する相手がいなかったり、この福祉協議会というのを知れてよかった。また、福祉協議会をたくさんの人に知ってほしいと思った。そのため、今回のように学校に来てくださったのはとても良い機会だったと思う。闇サイトで大変なことになってしまったり、人生に困る人が少しでも減ったらいいと思う。

・人には色々な人生があるんだなと思った。すごろくがとても面白かったです。困った時には助けてくれる人がいるんだな思ってとても嬉しかったです。もし自分がこういうことになったとしても助けてくれると考えると安心した。ちょっと変わるだけで未来が変わるんだなと思った。自分も35歳になった時に自分がどうなっていてどんな仕事をしていてどんなことをしているのかがこの授業を通して、とても気になった。自分もこのことに少し興味を持った。すごろくで未来のことをこんなにも表したり表現できるなんてとてもすごいと思いました。見えない所でこんなにも人のためになる仕事があるなんて知らなかったし、とてもいい仕事だなと思った。社会福祉に自分も興味を持てた。

・社会福祉の話聞いて、いろんな助けを求められるのがあって、助けてくれる人がいてすごいなと思った。すごろくでは、いろんな人生があって良いことも起きるけれど、悪いこともおきるから人生って大変だなと思った。でも、それに合わせて相談できるところがあるから安心する。今はネットに頼りがちになっているけれど、こういう社会のちゃんとしたところで相談するのも大切なんだなと思った。

・社会福祉で社会で困っている人や障害を持っていて一定の行動ができない人が助けられるようになっていて、すごくいい取り組みだと思った。もしも自分がそういう立場に置かれたときにすごく助かると思った。動画で見たようにあんな風に寄り添っていると支援を受けている人も少しはやってみようかなと思えるし、しかもあんなに寄り添うことができるのは本当にプロだと思った。こういうことを知らない所でして、かっこいいと思った。社会福祉協議会の皆さんが来てくれて本当に良かった。